女と男のいる舗道（1962）

VIVRE SA VIE
IT'S MY LIFE
MY LIFE TO LIVE

メディア	映画
ジャンル	ドラマ
製作国	フランス
色彩	B&W
時間	84分
初公開日	1963/11/19
公開情報	ヘラルド
リバイバル	1994/10［ヘラルド］

【解説】

この映画のルイズ・ブルックスを思わせる断髪のＡ・カリーナは本当に魅力的だ。ゴダールが彼女を撮る姿勢に愛情が満ち溢れているからか。実生活でも蜜月の季節を送っていた二人だ。カリーナ演ずる、ゾラの有名な小説の主人公と同じ名を持った女ナナは、娼婦がレビュー女優に成り上がるゾラのヒロインとは逆に、娼婦に零落する女優志願の娘。若くして結婚し、子供をもうけたが離婚して家を出た。安月給のレコード店員では生活が持たず、つい男に誘われ、体を許した代償として金を受け取ってしまう。そのうちポン引きのラウールと出会い、彼に好意を持った彼女は完全な娼婦に仕込まれる。だが、かりそめの愛も春を売る暮らしにやがて冷えきり、彼女は無感動に日々を費やす……。全編を１２の章立てにし、ゴダールは物語的興趣を例の如く分断するが、それでも映画館で「裁かるゝジャンヌ」を見て涙する場面、カフェで偶然隣合わせた老哲学者と語り合うくだりなど実にエモーショナルだ。

【クレジット】

監督	ジャン＝リュック・ゴダール	Jean-Luc Godard
脚本	ジャン＝リュック・ゴダール	Jean-Luc Godard
撮影	ラウール・クタール	Raoul Coutard
音楽	ミシェル・ルグラン	Michel Legrand
出演	アンナ・カリーナ	Anna Karina
	サディ・レボ	
	ブリス・パラン	
	アンドレ・Ｓ・ラバルト	André S. Labarthe

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.